

厚生労働大臣 殿

国立大学法人富山大学長
西 頭 徳



富山大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	80人
--------	-----
- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照 (様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	241.4人	12.0人	253.4人	看護業務補助者	19人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	10.8人	0.0人	10.8人	理学療法士	3人	臨 床 検 査	臨床検査技師 35人
薬 剤 師	27人	0.0人	27.0人	作業療法士	1人		衛生検査技師 1人
保 健 師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	3人		そ の 他 0人
助 産 師	23人	0.0人	23.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	378人	13.7人	391.7人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従業者	2人
准 看 護 師	0人	0.0人	0.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	31人
歯科衛生士	1人	0.0人	1.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	71人
管理栄養士	5人	0.0人	5.0人	診療放射線技師	22人	そ の 他 の 職 員	41人

(平成19年10月 1日現在)

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	527.8人	6.7人	534.5人
1日当たり平均外来患者数	1,071.3人	44.1人	1,115.4人
1日当たり平均調剤数	889.3 剤		

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の親血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Open MRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するYag Laserによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	4人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	10人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧充進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と移転の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するYagLaserによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚繊維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・X線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻咽喉領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮線筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPF)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抹消血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
ベーチェット病	352 人	モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	72 人
多発性硬化症	257 人	ウェゲナー肉芽腫症	57 人
重症筋無力症	176 人	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	206 人
全身性エリテマトーデス	1,490 人	多系統萎縮症	102 人
スモン	35 人	表皮水疱症(接合型及び栄養障害型)	0 人
再生不良性貧血	83 人	膿疱性乾癬	7 人
サルコイドーシス	299 人	広範脊柱管狭窄症	33 人
筋萎縮性側索硬化症	48 人	原発性胆汁性肝硬変	223 人
強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	650 人	重症急性膵炎	0 人
特発性血小板減少性紫斑病	150 人	特発性大腿骨頭壊死症	85 人
結節性動脈周囲炎	235 人	混合性結合組織病	226 人
潰瘍性大腸炎	568 人	原発性免疫不全症候群	44 人
大動脈炎症候群	183 人	特発性間質性肺炎	72 人
ビュルガー病	108 人	網膜色素変性症	222 人
天疱瘡	41 人	プリオン病	0 人
脊髄小脳変性症	141 人	原発性肺高血圧症	47 人
クローン病	313 人	神経線維腫症	16 人
難治性肝炎のうち劇症肝炎	8 人	亜急性硬化性全脳炎	0 人
悪性関節リウマチ	347 人	バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
パーキンソン病関連疾患	803 人	特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0 人
アミロイドーシス	71 人	ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病含む)	4 人
後縦靭帯骨化症	235 人	副腎白質ジストロフィー	0 人
ハンチントン病	0 人		

(注)「取扱い患者数」欄は、前年度の年間実患者数を記入すること。

8,009 人

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或は臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1年間に55回開催
剖検の状況	剖検症例数 58例 剖検率 20.9%

(様式11-A)

高度の医療技術の開発及び評価の実績 (平成18年度)

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	インスリン作用の分子生物学的検討	石木 学	第1内科	2,000千円	補 文部科学省科学研究費補助金
2	植え込み型突然死防止装置の開発:呼吸統制による心不全治療	井上 博	第2内科	4,000千円	補 厚生労働省科学研究費補助金
3	無症候性Brugada症候群の予後に関する研究(多施設共同継続研究)	井上 博	第2内科	900千円	補 国立循環器センター循環器病研究委託事業
4	交感神経抑制と心不全:神経終末機能と細胞間隙ノルエピネフリン動態からの検討	井上 博	第2内科	1,300千円	補 文部科学省科学研究費補助金
5	芍薬甘草湯の腸管運動抑制効果に関する検討(ラット腸管筋電図のワイヤレス・リアルタイム観察)	藤浪 斗	第3内科	500千円	平成18年度教育研究特別経費(学長裁量費)
6	遷移金属ナノクラスターを用いた炎症性皮膚疾患の治療	清水忠道	皮膚科	2,300千円	補 科学研究費(萌芽研究)
7	東洋の知に立脚した個の医療の創成	清水忠道	皮膚科	2,200千円	補 研究拠点形成費(COE)
8	東アジアにおける先天性免疫不全症の診断システムの構築と比較研究	金兼弘和	小児科	2,500千円	補 文部科学省科学研究費補助金基盤C
9	心筋緻密化障害の遺伝子解析	市田落子	小児科	800千円	補 文部科学省科学研究費補助金基盤C
10	脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究	鈴木道雄	神経精神科	1,200千円	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
11	形態と機能画像を用いた統合失調症の客観的診断技術に関する研究	川崎康弘	神経精神科	1,000千円	日本学術振興会科学研究費補助金
12	認知症の周辺症状に対する多価不飽和脂肪酸の生物学的マーカーとしての有用性	上原 隆	神経精神科	1,500千円	日本学術振興会科学研究費補助金
13	肝障害に対する免疫療法と、脾臓切除に	塚田一博	第2外科	2,200千円	補 文部科学省科学研究費補助金
14	無頸動脈狭窄症に対する内科治療と外科治療(GEA/CAS)の無作為臨床試験	遠藤俊郎	脳神経外科	800千円	補 文部科学省科学研究費補助金
15	本邦における硬膜動静脈瘻の治療の現状調査と今後の課題	桑山直也	脳神経外科	4,000千円	補 文部科学省科学研究費補助金
16	頸動脈頭蓋内動脈における石灰化の評価	遠藤俊郎	脳神経外科	923千円	補 済生会富山病院
17	二分脊椎の発生病態と予防及び総合医療に関する研究	遠藤俊郎	脳神経外科	700千円	精神・神経疾患研究委託費
18	間葉系細胞分化制御と関節内移注による生物学的関節再建	木村友厚	整形外科	3,900千円	補 文部科学省科学研究費補助金
19	腰部脊柱管狭窄症に対する遺伝子治療の開発	金森昌彦	整形外科	1,000千円	補 文部科学省科学研究費補助金

(様式 1 1-A)

高度の医療技術の開発及び評価の実績 (平成 1 8 年度)

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
20	椎間板疾患感受性遺伝子CILPの機能解明に立脚したトランスジェニックマウスの解析	関 庄二	整形外科	8,300千円	補 文部科学省科学研究費補助金
21	RNAi法を利用した変性促進遺伝子を抑制する椎間板細胞移植治療法の開発	川口善治	整形外科	800千円	補 文部科学省科学研究費補助金
22	人工膝関節置換術後の膝関節動態と膝蓋腱内応力の解析	下条竜一	整形外科	1,000千円	補 文部科学省科学研究費補助金
23	転写因子ATBF1とZF4による筋分化再生誘導に関する研究	野上重治	整形外科	1,700千円	補 文部科学省科学研究費補助金
24	抗リウマチ治療による軟骨破壊制御の基礎的、臨床的評価	木村友厚	整形外科	1,000千円	補 厚生労働科学研究費補助金
25	脊柱靭帯骨化症に対する調査研究	木村友厚	整形外科	800千円	補 厚生労働科学研究費補助金
26	生殖免疫と腫瘍免疫の対比-妊娠維持機構からみた腫瘍免疫学への新たな提言-	斎藤 滋	産科婦人科	16,270千円	補 科学研究費(基盤研究B)
27	炎症からみた早産、妊娠高血圧症候群の新たな治療戦略	塩崎有宏	産科婦人科	43,000千円	補 科学研究費(基盤研究C)
28	胎児炎症反応症候群(FIRS)の制御に向けた基礎的・臨床研究	斎藤 滋 (研究分担者)(代表: 大阪母子保健総合医療センター 柳原 格)	産科婦人科	2,100千円	補 成育医療研究委託費
29	膀胱癌に対する内視鏡下超音波遺伝子治療への基礎的研究	野崎哲夫	泌尿器科	1,000千円	補 文部科学省科学研究費補助金
30	細胞内活性酸素増幅法による口腔癌細胞死の増強	和田重人	歯科口腔外科	1,000千円	補 文部科学省科学研究費
31	脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究	田中耕太郎	神経内科	800千円	補 厚生労働科学研究費補助金
32	炎症関連転写因子活性化測定法開発による全身性炎症反応症候群の迅速診断	北島勲	検査部	1,500千円	補 文部科学省科学研究費補助金
33	分子病態検査学的手法による漢方医学診断(証)の解明	仁井見英樹	検査部	1,600千円	補 文部科学省科学研究費補助金
34	精神遅滞関連遺伝子ATRX変異マウスを用いた記憶・学習障害と遺伝子制御異常の解明	北島勲	検査部	4,000千円	補 文部科学省戦略的創造事業
35	漢方「脈診」診断法のカオス解析と科学化	北島勲	検査部	3,636千円	補 科学技術振興機構(JST)科学技術振興調整費

(様式 11-A)

高度の医療技術の開発及び評価の実績 (平成 18 年度)

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
36	cDNAマイクロアレイを用いた関節リウマチにおける「証」の検証	北島 勲	検査部	2,200千円	補 文部科学省科学研究研究拠点形成費
37	real-time PCR法を用いた迅速な敗血症起因菌同定システムの構築に関する研究	仁井見英樹	検査部	2,000千円	補 科学技術振興機構 (JST) シーズ発掘試験研究費

計37

- (注) 1 国, 地方公共団体又は公益法人等から補助金の交付又は委託を受け行った研究の
2 「研究者氏名」欄は, 1つの研究について研究者が複数いる場合には主たる研究
3 「補助元又は委託元」欄は, 補助の場合には「補」に, 委託の場合には「委」

(様式 1 1-B)

2 論文発表の実績 (平成 1 8 年度)

	雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
1	Heart 92:201-207, 2006	New quantitative methods for evaluation of dynamic changes in QT interval on 24 hour Holter ECG recordings: QT interval in idiopathic ventricular fibrillation and long QT syndrome	Sugao M, Fujiki A, Sakabe M, et al	第2内科
2	Int J Cardiol 109:59-65, 2006	D-dimer level influences thromboembolic events in patients with atrial fibrillation.	Nozawa T, Inoue H, Hirai T, et al	第2内科
3	J Clin Invest 116:1005-1015, 2006.	α 1-adrenergic receptors prevent a maladaptive cardiac response to pressure overload.	O'Connell TD, Swigart PM, Ishizaka S, et al	第2内科
4	Gastroenterology. 132:1024-38, 2007.	Pattern of transcription factor activation in Helicobacter pylori-infected Mongolian gerbils.	Kudo T	第3内科
5	Cytokine 35:270-274, 2006	Macrophage migration inhibitory factor in zinc-allergic systemic contact dermatitis	Yanagi T., Kodama K., Yoshihisa Y., Shimizu H., and Shimizu T.	皮膚科
6	Graefes Arch. Clin. Exp. Ophthalmol. 244: 825-828, 2006	Conspicuous increase of MIF in lacrimal fluid of patients with severe atopic dermatitis.	Kitaichi N., Shimizu T., Honda A., Abe R., Ohgami K., Shiratori K., Shimizu H., and Ohno S.	皮膚科
7	皮膚臨床 48: 505-510, 2006	金属アレルギーと皮膚疾患—亜鉛アレルギーの症例から学ぶ—	清水忠道	皮膚科
8	化学と生物 (今日の話) 44: 724-726, 2006	マクロファージ遊走阻止因子の新しい機能—炎症・免疫応答, 腫瘍増殖など広範な生命現象疾患に密接に関与—	1) 牧野輝彦, 清水忠道	皮膚科
9	Int J Hematol 84:60-2, 2006.	Clinical and genetic analyses of presumed Shwachman-Diamond syndrome in Japan.	Taneichi H, Kanegane H, Futatani T, Otsubo K, Nomura K, Sato Y, Hama A, Kojima S, Kohdera U, Nakano T, Hori H, Kawashima H, Inoh Y, Kamizono J, Adachi N, Osugi Y, Mizuno H, Hotta N, Yoneyama H, Nakashima E, Ikegawa S, Miyawaki T.	小児科
10	Brit J Haematol 135:362-6, 2006.	Outcome in patients with Wiskott-Aldrich syndrome following stem cell transplantation: an analysis of 57 patients in Japan.	Kobayashi R, Ariga T, Nonoyama S, Kanegane H, Tsuchiya S, Morio T, Yabe H, Nagatoshi Y, Kawa K, Tabuchi K, Tsuchiya M, Miyawaki T, Kato S.	小児科
11	Pediatr Res 60:770-4, 2006.	MxA-based recognition of viral illness in febrile children by a whole blood assay.	Nakabayashi M, Adachi Y, Itazawa T, Okabe Y, Kanegane H, Kawamura M, Tomita A, Miyawaki T.	小児科
12	Mol Genet Metab 2006; 88:71-77.	Genetic Analysis in Patients with Left Ventricular Noncompaction and Evidence for Genetic Heterogeneity.	Xing Y, Ichida F, Matsuoka T, Isobe T, Ikemoto Y, Higaki T, Tsuji T, Haneda N, Kuwabara A, Chen R, Futatani T, Tsubata S, Watanabe S, Watanabe K, Hirono K, Uese K, Miyawaki T, Bowles KR, Bowles NE, Towbin JA.	小児科
13	European Journal of Medical Genetics 2006;49:247-53.	Interstitial 1q43-q43 Deletion with Left Ventricular Noncompaction Myocardium.	Kanemoto N, Horigome H, Nakayama J, Xing Y, Ichida F, Buonadonna AL, Kanemoto K, and Gentile M.	小児科

(様式 11-B)

2 論文発表の実績 (平成18年度)

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
14	J Am Coll Cardiol. 2006;48:1257-64.	Expression of Myeloid-Related Protein (MRP) 8 and MRP14 in Patients with Acute Kawasaki Disease.	Hirono K, Foell D, Xing Y, Miyagawa-Tomita S, Ye Fei, Ahlmann M, Vogl T, Futatani T, Rui C, Yu X, Watanabe K, Wanatabe S, MD, Tsubata S, Uese K, Hashimoto I, Ichida F, Nakazawa M, Roth J, and Miyawaki T.	小児科
15	Fetal Diagnosis and Therapy. 2006;22:29-32.	Reversed pulmonary artery flow in isolated noncompaction of the ventricular myocardium.	Grebe S, Ichida F, Grabitz R, Bultmann B, Heidemann S, von Kaisenberg CS.	小児科
16	Prog Neuro-Psychopharmacol & Biol Psychiatry 30: 1299-1303, 2006	Electrical brain activity and response to olanzapine in schizophrenia: A study with LORETA images of P300.	Sumiyoshi T, Higuchi Y, Kawasaki Y, et al.	神経精神科
17	Neuroimage 34: 235-242, 2007	Multivariate voxel-based morphometry successfully differentiates schizophrenia patients from healthy controls.	Kawasaki Y, Suzuki M, et al.	神経精神科
18	精神神経医学雑誌 108: 654-660, 2006	統合失調症の脳形態学的研究—病態形成との関わりと客観的診断法への応用—.	鈴木道雄, 川崎康弘, 周世昱, 高橋 努, 倉知正佳	神経精神科
19	FEBS Lett 580:3368-74, 2006	Upregulation of thromboxane synthase in human colorectal carcinoma and the cancer cell proliferation by thromboxane A2	Sakai H, Takahashi Y, Ukai M, Fujii T, Horikawa N, Minamimura T, Tabuchi Y, Morii M, Tsukada K	第二外科
20	World Journal of Gastroenterology:12: 822-824, 2006	Five-year survival following a medial pancreatectomy for an invasive ductal carcinoma from the body of the pancreas	Abe H, Kouichi T, Kazuhiro T, Masatoshi M	第二外科
21	Endoscopy:38:955-956, 2006	Abscess formation in a giant gastrointestinal stomal tumor of stomach following endoscopic biopsy	Nozawa S, Bando T, Nagata T, Tsukada K	第二外科
22	胆と膵:223-226, 2006	十二指腸乳頭部癌—治療成績に関する最新のデータ—	塚田一博, 澤田成朗, 長田拓哉	第二外科
23	Neuro Med Chir (tokyo), 46:46-50, 2006	Safe Removal of Glioblastoma Near the Anglar Gyrus by Awake Surgery Preserving Calculation Ability.	Kurimoto M.	脳神経外科
24	Interventional Neuroradiology, 12:233-240, 2006	Endovascular treatment of urgent carotid occlusion.	Tsumura K.	脳神経外科
25	J Neurosurg, 104:321-325, 2006	Transparent endoscopic sheath and rigid-rod endoscope used in endoscopic third ventriculotomy for hydrocephalus in the presence of deformed ventricular anatomy.	Hayashi N.	脳神経外科
26	臨床と研究, 83:93-98, 2006	EBMに基づく頸動脈高度狭窄病変の外科治療	遠藤俊郎	脳神経外科
27	J Hum Genet, 51:1063-1067, 2006	Association study of COL9A2 with lumbar disc disease in the Japanese population.	Seki S, Kawaguchi Y, Mori M, et al.	整形外科
28	Spine, 31:2807-2821, 2006	How does the ossification area of the posterior longitudinal ligament progress after cervical laminoplasty?	Hori T, Kawaguchi Y, Kimura T	整形外科
29	Am J Obstet Gynecol 194: 14-19, 2006.	Evaluation of effectiveness of prophylactic cerclage of a short cervix according to interleukin-8 in cervical mucus.	Sakai M., Shiozaki A., Tabata M., Sasaki Y., Yoneda S., Arai T., Katoh K., Yamakawa Y., Saito S.	産科婦人科